

新型コロナウイルス関連 公開情報取りまとめ
～2020年3月25日（水）17時現在～

在サンパウロ日本国総領事館

1 サンパウロ州

3月24日（火）～25日（水）発表

- 24日（火）午後5時時点の州内感染者数は810人、死亡者数は40人（うち37名は60歳以上）。
- 24日（火）、消費者センター（Procon）はアルコールジェルとマスクの販売価格が適正であるか監査開始。消費者は、不適正な価格で販売している店舗を発見した場合、インターネット（www.procon.sp.gov.br）、アプリ、SNS上でのタグ付け（@proconsp）を通じ、同センターに通告可能。
- 24日（火）、サンパウロ市は、フェイラに関する新たな措置を発表。屋台間の間隔を少なくとも1メートル開け、その場での飲食禁止。商品は陳列前に要パッケージ。営業は火～日の午前7時半～午後1時を維持。
- 24日（火）、サンパウロ市は、利用者減少等を受け、市内バスの運行を通常の55%に減らすと発表。
- 25日（水）、ロドリゴ・ガルシア副州知事及びジュリオ・セルソン州国際関係局長は、在サンパウロの各国領事団74人とともに新型コロナウイルス対策のためのビデオ会議を実施。
- 25日（水）現在、サンパウロ市内の新型コロナウイルス集中治療用の病床数は505床で、今後640床が追加される予定（ブラジランディア市立病院の150床含む）。
- 25日（水）、サンパウロ市国際関係局は、11日（水）にWHOがパンデミックを宣言したことを受け、新型コロナウイルスの感染抑制につながっているグッドプラクティスの国際的な調査を始めたと発表。
- 4月1日（水）より、州立学校に通う70万人の低所得者層の生徒一人につき、毎月55レアルを支給（休校の影響で、給食が食べられない生徒への手当）。
- 治安関係者へのインフルエンザ・ワクチン接種が前倒しとなり、3月30日から開始。

2 マット・グロソ州

3月24日（火）～25日（水）発表

- 25日（水）、州政府は災害事態（calamidade pública）を宣言。期間は90日だが、必要に応じて延長。
- 25日（水）午後6時現在、州内の感染者数は9人（クイアバ市：6人、ノヴァ・モンテ・ヴェルジ市：1人、ヴァルゼア・グランデ市：2人）感染疑い者数は326人。人口の多い州都クイアバ市及びヴァルゼア・グランデ市は新型コロナウイルス感染拡大防止に向けて協働へ。
- 25日（水）、同州は、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、ボリビアとの国境警備を強化させると発表。期間は15日だが、必要に応じて延長。
- 25日（水）、州政府は恵まれない家庭の支援を目的とした寄付の受付を開始。

3 マット・グロソ・ド・スル州

3月24日（火）～25日（水）発表

- 24日（火）現在、感染疑い者数は38人、感染者数は24人、死者は0人。
- 24日（火）、州都カンポ・グランデ市は、同市教育局を通じ、ボルサ・ファミリア（低所得者向けの社会福祉プログラム）の受給家庭の子供たちを支援するため、食料パックの配布を開始。
- 25日（水）、州保健局は、マット・グロソ・ド・スル・バイオエネルギー生産協会より、6万リットルの消毒用アルコール（70%）の寄付を受けたと発表。
- 25日（水）、州内の市間を結ぶ公共交通機関の運行は中断。需要の低下及び感染抑制のため。
- 25日（水）、カンポ・グランデ市は休校中の学校を活用し、路上生活者を保護する取組を開始。
- 25日（水）、州内各市が新型コロナウイルス感染対策キット（アルコールジェル等）の受取開始。（了）